

〔感染制御部〕

研修の特徴と内容

【特徴】

感染対策に関する基礎的知識の習得に必要な研修を行う。

【内容】

① 一般目標（G I O）

将来の専攻科にかかわらず感染制御部の医療全体の中での位置を理解し、知識、技能を身につける。

② 行動目標（S B O）

1. 病院内で問題となっている耐性菌を理解する。
2. 抗菌薬適正使用の基礎知識を習得する。
3. 多剤耐性菌に対する感染対策を実践する。
4. チーム医療について経験する。
5. 重症感染症患者管理について習得する。
6. 基本的な感染症の専門用語を理解し、カンファレンスのプレゼンテーションを行なう。

③ 研修内容（L S）

1. 集中治療病棟でのカンファレンス
2. 一般病棟での抗菌薬ラウンド
3. 多剤耐性菌発生時の介入、対策の指示
4. 抗菌薬コンサルテーション時の対応
5. 血液透析、持続的血液ろ過透析患者における抗菌薬投与設計
6. Therapeutic drug monitoring (TDM)の指示とその解釈のディスカッション
7. 経験した感染症治療サマリーの入力
8. カンファレンス
9. 抄読会

④ 教育に関する行事

月から土（隔週）：午前 ICU ラウンド、午後一般病棟ラウンド
火、木：各病棟、外来の環境ラウンド

⑤ 研修評価（E V）

研修終了時、研修指導医が達成度を評価する。

指導医等

主任教授：竹末 芳生

講師：中嶋 一彦

研修実施責任者

講師：中嶋 一彦